This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

WEST



Generate Collection

L16: Entry 1 of 1

File: DWPI

Nov 29, 1977

DERWENT-ACC-NO: 1978-05125A

DERWENT-WEEK: 197803

COPYRIGHT 2003 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Plastics <u>nib,</u> partic. for use with rapid-drying inks - is made of open<u>-celled foam</u> e.g. of polyethylene or polystyrene

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

CODE

KIRYU Y

KIRYI

PRIORITY-DATA: 1976JP-0058870 (May 21, 1976)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE

PAGES MAIN-IPC

S

JP 52143118 A

November 29, 1977

000

JP 80014757 B

April 18, 1980

000

INT-CL (IPC): B43K 1/00; B43K 8/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 52143118A

BASIC-ABSTRACT:

Nib for writing implements is made of open-celled foam such as foamed polyethylene, polystyrene, polyurethane, polyvinyl alcohol, etc.

Used partic. for implements using rapid drying ink such as sign pens, marking pens, etc. In the porous <u>nib</u>, as ink can permeate rapidly towards the <u>tip of the nib</u>, smooth writing is obtd. without a break in flow, and the nib is hard wearing.

TIT LE-TERMS: PLASTICS NIB RAPID DRY INK MADE OPEN CELL FOAM POLYETHYLENE POLYSTYRENE

DERWENT-CLASS: A84 P77

CPI-CODES: A12-D05; A12-S04;

POLYMER-MULTIPUNCH-CODES-AND-KEY-SERIALS:

Key Serials: 0231 0239 0304 1294 2007 2539 2571 2617 2628 2629 2653 2657 2680 2763

Multipunch Codes: 011 04- 041 046 047 055 056 150 231 244 245 491 493 532 533 535 540 551 556 560 566 567 575 595 597 598 641 688 720

(9日本国特許庁

公開特許公報

①特許出願公開

昭52—143118

DInt. Cl2. B 43 K 8/02 識別記号

❸日本分類 118 A 211 庁内整理番号 6777 - 25

码公開 昭和52年(1977)11月29日

発明の数 1 審查請求 有

(全 4 頁)

69筆記具用ペン先

顧 昭51-58870

22出

20特

昭51(1976)5月21日

心 明 者 桐生芳人

東京都葛飾区奥戸1丁目5番10

号

⑪出 願 人 桐生芳人

東京都墓飾区奥戸1丁目5番10

60代 理 人 弁理士 杉山泰三

筆記具用ペン先

特許請求の範囲

- 1. ポリエテレン、ポリステロール、ポリウレ タン、ポリビニール等の多孔連続気息性物質 を以て製したことを特徴とする筆記具用ペン 先。
- 2. 中心に毛管作用を為す弊性芯体を貫通させ た特許請求の範囲第1項記載の筆記具用ペン 先。
- 3. 中心に耐薬品性発性芯体を貫通させた特許 請求の報酬第1項記載の筆記英用ペン先。

- 4. 適度の通気性を有する被膜を表面に被せた 特許請求の範囲第1項配載の筆記具用ペン先。
- 5. パイプ内に挿入した特許論求の範囲祭』項 配象の筆記具用ペン先。
- 両権を除いた外員面にセロハン、紙等テー ブを帰回した特許請求の範囲祭』項配載の筆 配具用ペン先。

発明の詳細な説明

本強明は主として選乾性インキを使用した所 単 筆ペン、ナインペン、マーキングペン等に鉴 握して使用する新規なペン先を提供するもので... あつて、其の実施例を図面に依拠して説明する E.

#開 昭52-14311 8 (2)

第 1 図、第 2 図 および第 3 図に示す実施例は ポリピニールアルコール (P∇A)を主成分とする 発泡物質を以て製造したペン先(1)をインキの優 造芯(2) ′を内蔵せる軌筒(2)の先端に接着したも のであり、

第4回に示す実施例は毛管作用を為す弊性若体(3)を上記のペン先(1)の中心に貫通させて最水性および保水性を増強したものであり、

第 5 図に示す実施例は耐楽品性学性芯体(4)を 上記のペン先(1)の中心に真通させて優濃時の弾 性を良好にしたものであり、

第 δ 図に示す実施例は適度の通気性を有する 被膜(5)を上記のペン先(1)の表面に被せて欠損を 防止したものであり、

第7回に示す実施例は剛性または柔軟性パイ

-

- 4. ゴムスポンジの知き老男性がなく、機械 的強度に優れている。
- 有機器剤およびアルカリ等の化学集品に対して耐性が顕著である。
- 6. 気孔径の調整が比較的容易であり且つ形 状寸法も任意に選定することができる。

等の特質を有するものであって、本発明のペン 先の製造に打って付けである。

本発明は叙上の如くポリエテレン。ポリステロール、ポリウレタン、ポリピニール等の多孔 連続気度性物質を以て製したことを特徴とする ので、類る簡単に製造し得る者効があるは勿論 であるが、特に多孔連続気度がインキを先端に 向つて速やかに浸透するので所謂インキ切れが ブ(8)内に上配のベン先(1)と同様にして構成せるベン先(7)を挿入し仍つて通気、進水性の調整を容易にし且つ折損を少くしたものであり、

第.8 図に示す実施例は上記のペン先(7)の両端を除いた外周面にセロハンテーブ(8)を推着し仍つて通気性、通水性の調整を容易にし且つ折損を少くしたものである。

因に、上記のポリピニールアルコール(PVA) を主成分とする発泡物質は

- 1. スポンク組織内の気孔が相互に連通していて液体振技が低い。
- 2. 分子内に0日基を持ち環水性であること 及び数組気孔に基く毛管作用とが使って吸水(排水)性に優れている。
- 3. 湿漉状態では速度の柔軟性と弊力性を示

なく書き具合が顕著によいのみならず従来のフェルト製ペン先の如く短期間の使用で尖端が太くなることがなく且つインキによつて譲継が影響して脆弱するようなことがないので長期に亘って書き良さを持続する等の優れた諸効果を有するものである。

固面の簡単な説明

図は本発明筆記具用ペン先の実施例を示すものであって、第1図は全体の新機図、第2図は 第1図 A - A 権に沿う所面図、第3回は使用状態を示す側所面図、第4型、第5図、第6図、 第7図、第8図は別具の実施例を示すものであって第1図 A - A 様に相当する個所の所面図である。 (1)(7)・・・ペン先、(2)・・・釉筒、(2)/・・・インキの表達芯、(3)(4)・・・石体、(5)・・・被膜、(6)・・・パイプ、(8)・・・セロハンテーブ。







